

Sustainable Campus Award 2018

- 第1部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **建築・設備部門**
第2部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **大学運営部門**
第3部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した **学生活動・地域連携部門**

**応募
締切** 2018
8.31 (Fri.)

1. 主 旨

優れたサステイナブルキャンパス構築に係る取組事例を表彰制度によって顕彰し、会員の意識を高めるとともに、サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）の活動を推進し加速させ、持続可能な環境配慮型社会の構築に貢献することを目的に実施します。

2. 募集対象

下記の3部門に該当する具体事例を対象とします。

原則として、応募できる事例は、各部門につき1事例とします。部門毎に1事例、計3事例の応募が可能ですが、応募申請書はそれぞれ別々に作成してください。

第1部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した**建築・設備部門**

- ・地球環境・利用者環境に配慮した建物・設備・屋外空間等の竣工事例
- ・建築・設備における省エネ対策、維持管理手法、キャンパスにおけるエネルギー消費・CO2排出量の削減、再生可能エネルギーの導入等の取組事例

第2部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した**大学運営部門**

- ・環境負荷低減に資する大学運営や、計画立案の取組事例
- ・サステイナブルキャンパス実現に向けた推進体制、整備手法、アクションプラン、広報活動等の具体事例
- ・3R（廃棄物）対策、水・食料問題、物品購入、交通問題、生態環境の保全等の活動事例
- ・サステイナブルキャンパスの評価手法・研究手法等の開発事例

第3部門 キャンパスのサステナビリティに配慮した**学生活動・地域連携部門**

- ・学生の参画によるサステイナブルキャンパス実現に向けた活動事例
- ・学生の参画を促す環境教育、カリキュラム開発等の具体事例
- ・地域社会・行政・民間企業等との協働、大学間ネットワーク構築等の具体事例

3. 応募資格

サステイナブルキャンパスの構築に関連する活動を行っている団体または個人で、期限（平成30年7月31日）までに応募登録を行った者

4. 表 彰

平成30年11月17日（土）に岩手大学で開催される年次大会において、応募部門毎に原則として各1事例を表彰します。さらに今年は、始めて参加された大学の中から、ニューカマー賞を選定します。

5. 審査委員



阿部 治
立教大学・教授
サステナビリティ教育



及川清昭
立命館大学・教授
建築計画・建築設計



田中英紀
名古屋大学・特任教授
設備計画・省エネルギー



出口 敦
東京大学・教授
都市計画・地域連携



朴 恵淑
三重大学・教授
管理運営・学生参画

問合せ・質疑は事務局までEメールをお願いします。

サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）表彰制度事務局 campus@office.chiba-u.jp

詳細はこちら → http://www.esho.kyoto-u.ac.jp/?page_id=1279

